

名古屋市芸術創造センター特別公演

無形文化遺産

最高の布陣による
素浄瑠璃の会
名古屋で開催!

「文楽」を聴く

かるかやどうしんつくしのいえづと
高野山の段
筋目桑門繁紫麟

高野山の段

浄瑠璃 竹本千歳大夫
三味線 鶴澤藤蔵

だんのうらかぶとぐんき
壇浦兜軍記

阿古屋琴責の段

阿古屋 豊竹呂勢大夫
重忠 竹本千歳大夫
岩永 豊竹靖大夫
榛沢 豊竹靖大夫
三味線 鶴澤清介
ツレ 鶴澤藤蔵
三曲 鶴澤清志郎

日時 平成27年 **8/11**(火) 18:30開演 (18:00開場)

会場 名古屋市芸術創造センター (地下鉄東山線「新栄町」駅1番出口より北へ徒歩3分)

料金 1階席5,000円 2階席3,500円 [全指定席] 友の会先行発売4/17(金) 一般発売4/22(水)

※名古屋市文化振興事業団 友の会会員は1割引(ただし事業団前売りのみ)

チケット
取扱

名古屋市芸術創造センター
名古屋市文化振興事業団チケットガイド
※名古屋市文化振興事業団が管理運営する文化施設窓口でもお求めいただけます。
チケットぴあ [Pコード443-867]

TEL052-931-1811 (休館日(原則月曜日)を除く9:00~20:00)
TEL052-249-9387 (平日9:00~17:00/郵送対応可)
TEL0570-02-9999 ※チケットぴあでは手数料等が必要になります。

主催・問合せ (公財)名古屋市文化振興事業団[芸術創造センター] TEL 052-931-1811

ユネスコ無形文化遺産である人形浄瑠璃「文楽」。この度、演奏されることの少ない〈高野山の段〉と、三味線や琴、胡弓の三曲の入った音楽劇というお洒落な大曲〈阿古屋の琴責〉の二段を、実力と人気を兼ね備えた、清新な出演者でお贈りします。素浄瑠璃は太夫と三味線の技巧だけで壮大なドラマを展開します。重厚壮大な語りと優美な曲節で気迫のこもった精緻な舞台をご堪能ください。

かるかやどうしんつくしのいえずと 苅萱桑門築紫幟 高野山の段

浄瑠璃 竹本千歳大夫
三味線 鶴澤藤蔵

筑紫の加藤左衛門尉繁氏が世の無常を感じ出家し、苅萱道心となつてい
ます。妻子は苅萱を追つて、高野山へたどりつきますが、女人禁制のため、
幼い石童丸がひとりで入山します。通りかかった僧に父の行方を尋ねる
と、僧は我が子であると気がきますが、今は道心となつた修行の身である
ため名乗らず、石童丸に母のための妙薬を渡し、国へ帰るよう伝えます。
石童丸はこの僧が父ではないかと思ひますが、道心は否定し、涙の別れと
なります。「石童丸」の物語として知られており、石童丸のけなげさ、名乗
ることのできない父親のつらさが胸にせまる名作です。

〔メモ〕「苅萱桑門築紫幟」は享保二十年（七三五年）初演の時代物で
「高野山の段」はその五段目にあたります。先行の説教や謡曲の「苅萱」を
下敷きに、並木宗輔、並木丈輔の合作です。あまり上演されませんが、次
代につなげたい演目です。（演目名は丸本による）

だんのうらかぶとぐんき 壇浦兜軍記 阿古屋琴責の段

阿古屋 豊竹呂勢大夫
重忠 竹本千歳大夫
岩永 豊竹靖大夫
榛沢 鶴澤清介
三味線 鶴澤清介
ツレ 鶴澤藤蔵
三曲 鶴澤清志郎

壇ノ浦で源平の勝敗が決まってからも、平家方のクーデターが続きます。
源氏は頼朝の暗殺を企てた悪七兵衛景清の行方を詮議するため、恋人
の遊女阿古屋を堀川問注所に召し出し訊問しますが、阿古屋は景清をか
ばい知らぬと答えます。岩永は拷問により聞き出そうとしますが、秩父
庄司重忠は阿古屋に琴、三味線、胡弓（三曲）を弾かせ、その音色に乱れが
ないことで無実と判断するという、優美な裁判劇です。拷問の道具に楽器
を使うという意外性に加え、品位ある傾城阿古屋の述懐、智仁の重忠、敵
役の岩永のそれぞれの語り、そして実力派の揃った三曲の精緻な演奏を
お楽しみください。

〔メモ〕壇浦兜軍記は享保十七年（七三二年）松田文耕堂、長谷川千四
の合作。五段構成の時代物ですが、現在上演されるのは、この「阿古屋琴
責の段」は三段目の口だけという、珍しい演目です。



豊竹 靖大夫



竹本 千歳大夫



豊竹 呂勢大夫



鶴澤 清介



鶴澤 藤蔵



鶴澤 清志郎

「阿古屋琴責」の舞台面による

(口上・床世話 鶴澤清公)

名古屋市芸術創造センター

名古屋市東区葵一丁目3番27号 TEL:052-931-1811

- ・地下鉄東山線「新栄町」下車 1番出口より北へ徒歩3分
- ・地下鉄桜通線「高岳」下車 3番出口より東へ徒歩5分
- ・駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。



「友の会」会員募集中!
<http://www.bunka758.or.jp/>